

渡邊 一文



計画的な市職員の削減を

質問

平成16年度の自主財源は27%、人件費は24%です。

人件費が自主財源を上回らないような企画・運営をすべきと考える。職員削減の進捗状況は。

答弁 市長

行政改革推進本部の設置により、行政改革の指針、計画を策定し、類似団体の職員数を目標に5年後、10年後の目標数値を定めます。

職員の定数管理は、定年退職者に加え、若干の優遇措置を講じながら希望退職者

の募集を行っていきま。退職に伴う補充も財政計画に基づき最小限に抑えていく考えです。

答弁 総務部長

毎年、定年退職者平均20名、採用3名で11年後には修正値の人員に到達する予定です。



本庁舎 正面玄関

橋本 祐輔



おがた総合病院のさらなる充実を

質問

患者が安心して受診できる医療機関となり、地域における医療の信頼性を高めるとされている病院機能評価の受け入れはいつか。

答弁 病院長

18年3月に申請を予定しています。

質問

今年度一般会計から、病院に繰り出されずに留保されている金額はどのくらいか。

答弁 病院事務長

病院があることにより一般会計に交付税措置などされる金額から、病院に繰り出される額の差額は約3600万円から4000万円



おがた総合病院 中央処置室

となり、これが、一般会計に留保されます。

職員の弾力的な適正配置を望む

質問

台風災害に伴い、超過勤務が2週間で113時間という職員の過重労働に、どう対応しているのか。

答弁 助役

労働安全、健康管理に関する部分は、執行部の責任。労働安全衛生委員会を11月に立ち上げ、おがた総合病院長を含む委員と協議し、対象者への面接、管理者に対する指示などを検討していきたいと思います。